

メガネが、彼らの〈せかい〉を変えた。

おしよりん

文部科学省選定(青年、家庭向き)

北乃きい 森崎ウィン

駿河太郎 高橋愛 秋田沙梨 磯野貴理子 津田寛治 榎木孝明 東てる美 佐野史郎

かたせ梨乃 小泉孝太郎

監督: 児玉宜久 原作: 藤岡陽子「おしよりん」(ポプラ社) 脚本: 関えり香 児玉宜久 エンディング曲: MORISAKI WIN「Dear」(日本コロムビア)

製作総指揮: 新進忠志 プロデューサー: 河合広栄 ラインプロデューサー: 川口浩史 撮影: 岸本正人 照明: 糸原伸也 録音: 林昭一 整音: 瀬川徹夫 記録: 日黒亜希子 編集: 村上雅樹 美術: 黒瀬みづ 装飾: 鈴木高正

衣裳: 田中洋子 ヘアメイク: 西村佳苗子 助監督: 宮崎剛 制作担当: 相良晶 制作プロダクション: 広栄 トロコフィルム 配給: KADOKAWA 製作: 「おしよりん」制作委員会 ©2018.08.08 JAPAN AIRLINES JF西日本ローカルラジオサービス



日本の眼鏡の95%を生産する福井。ゼロから立ち上げた兄弟と、二人を支え続けた妻の、情熱と愛の物語



日本製メガネの95%は福井県で生産されている！その始まりは、明治時代のことだった。豪雪地帯のため冬は農作業ができず収入が途絶える村を助けようと、その地で生まれ育った増永五左衛門と幸八の兄弟が、全身全霊を注いだのだ。その史実をもとに、「ものづくり」の魅力と、実用品かつ装飾品でもあるメガネに渾身の技術と魂を吹き込

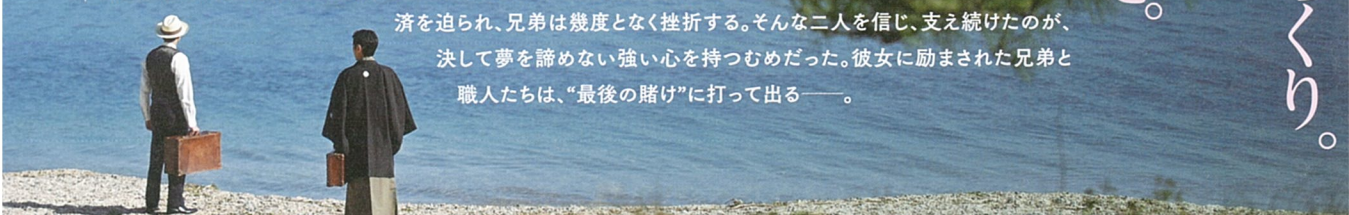
む職人たちと、そんな彼らを支える家族を描く。「おしよりん」とは、田畑を覆う雪が硬く凍った状態を指す福井の言葉。おしよりんになれば、回り道しないで好きなところへまっすぐ行ける。いくつになっても、どんな時も、夢に向かって自由に突き進もうという想いが込められた、挑戦と情熱と愛の物語がここに完成した。

ものづくり、それは、こころづくり。
彼らが人生をかけたのは、
メガネから見えるしあわせ。



ものがたり

あすわぐんあそうづじら
明治37年、福井県足羽郡麻生津村の庄屋の長男・増永五左衛門と結婚したむめは、育児と家事で忙しい日々を送っていた。ある日、五左衛門の弟の幸八が勤め先の大阪から帰郷し、村をあげてメガネ作りに取り組みないかと持ち掛ける。今はほとんど知られていないメガネだが、活字文化の普及で必ずや必需品になるというのだ。成功すれば、冬は収穫のない農家の人々の暮らしを助けることができる。初めは反対していたが、視力の弱い子供がメガネをかけて大喜ぶる姿を見て、挑戦を決めた五左衛門は、村の人々を集めて工場を開く。だが、苦勞の末に仕上げたメガネが「売り物にならない」と卸問屋に突き返され、資金難から銀行の融資を受けるも厳しく返済を迫られ、兄弟は幾度となく挫折する。そんな二人を信じ、支え続けたのが、決して夢を諦めない強い心を持つむめだった。彼女に励まされた兄弟と職人たちは、「最後の賭け」に打って出る――。



北乃きい 森崎ウィン

駿河太郎 高橋愛 秋田汐梨 磯野員理子 津田寛治 榎木孝明 東てる美 佐野史郎
かたせ製乃 小泉孝太郎

監督：児玉寛久 原作：藤岡陽子「おしよりん」(ホブラ社) 脚本：関えり香 児玉寛久 エンディング曲：MORISAKI WIN「Dear」(日本コロムビア)

制作総指揮：新津忠志 プロデューサー：河合広衆 ラインプロデューサー：川口清史 撮影：陣本正人 照明：森原伸也 録音：林昭一 整音：瀬川徹夫 記録：日黒愛希子 編集：村上雅樹 美術：黒瀬きみえ 装飾：鈴木高正

衣装：田中洋子 ヘアメイク：西村佳苗子 助監督：宮崎剛 制作担当：相良島 制作プロダクション：広衆 トロッコフィルム 配給：KADOKAWA 製作：「おしよりん」制作委員会 ©「おしよりん」制作委員会 JAPAN AIRLINES JR西日本ローカルサービス

<https://movies.kadokawa.co.jp/oshorin> @oshorin_movie



10.20(金)福井先行ロードショー
11.3(金・祝)全国ロードショー